

これからの梨の栽培管理について (第2号)

令和4年3月14日
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

1 黒星病対策について

(1) 落葉処理の見直し

落葉した黒星病秋型病斑からの1次感染源である「子のう胞子」飛散は、3月中下旬頃から本格的に始まると予想されます。

落葉処理が終了した園地でも、葉が原型のまま残っていないか早急に再度確認をお願いします。

(2) これからの防除について

☆開花期前後の防除は、黒星病の発生を左右する年間を通じて最も重要な防除です！！
☆防除は「降雨前」、SSは「低圧、低速、全列走行」を心掛け、散布ムラがないように努めてください。

回数	散布月日	薬剤名と希釈倍数	散布量	主な対象病害虫	防除実施日 (自己記入)
1	3月21～23日 (萌芽期)	デランフロアブル 1,000倍	300 ㍉	黒星病	
2	3月29～31日 (りんぼう脱落直前)	デランフロアブル 1,000倍	300 ㍉	黒星病、赤星病、心腐れ症(胴枯病菌)	
3	4月6～8日 (りんぼう脱落期)	ベルコートフロアブル 1,500倍 ダイアジノン水和剤 34 1,000倍	300 ㍉	黒星病、輪紋病 ハマキムシ類、シンクイムシ類、アブラムシ類	
<p>※「幸水」長果枝のりんぼうが脱落したことを確認して防除を実施してください！！ ※りんぼうに農薬が付着しても、りんぼうの脱落とともに農薬付着が不十分な組織が現れ、感染リスクが高まります。</p>					
4	4月14～16日 (開花直前)1分咲き	スコア顆粒水和剤 4,000倍 ベルコートフロアブル 1,500倍	300 ㍉	黒星病、赤星病 輪紋病、黒斑病、うどんこ病	
5	4月23～25日 (落花直後)	デランフロアブル 1,000倍	300 ㍉	黒星病、赤星病、心腐れ症(胴枯病菌)	
特	4月26日～ 4月30日頃	コンフューザーN 150本/10a		リンゴコカクモンハマキ、モモシンクイガ、ナシメシンクイ	
6	5月2～4日 (落花10日後)	オーシャイン水和剤 4,000倍 トレノックスフロアブル 500倍 ハチハチフロアブル 2,000倍	300 ㍉	黒星病、赤星病、心腐れ症(胴枯病菌) ニセナシサビダニ、アブラムシ類、クワコナカイガラムシ	

- ①ハマキムシ類の発生が多い園では5回目のデランフロアブルにサムコルフロアブル 10(5,000倍)を混用してください。
 - ②散布に当たっては、希釈倍数や対象病害虫など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。また、周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。
 - ③天候等の都合により防除間隔が10日以上空かないよう十分注意してください(10日以上空くと農薬の残効が切れ黒星病の感染リスクが高まります)。雨天が予想される場合は、雨前散布を心掛けてください。
 - ④黒星病の芽基部病斑は見つけ次第、早急に切除して園外に持ち出し、適正に処分してください。
- 今後の生育状況や、黒星病子のう胞子飛散状況によっては、防除日を変更する場合があります。
(その場合、速やかにお知らせします)。

2 開花予想について

向こう1カ月の天候は、平均気温が高い確率 60%と予想されています(3/10 新潟气象台発表)。

なお、今後の気温が平年並みに推移した場合、各品種の開花予想は右表のとおりです(3/10 日現在)。

品種名	令和4年予想(3月10日現在)	
	開花始め(前年比)	満開日(前年比)
幸水	4月18日(11日遅い)	4月22日(11日遅い)
豊水	4月15日(13日遅い)	4月18日(12日遅い)
あきづき	4月15日(9日遅い)	4月17日(10日遅い)
新高	4月12日(13日遅い)	4月15日(13日遅い)

※今後の気温が平年並みに推移した場合

3 人工受粉の留意点

(1) 受粉は暖かい降雨の無い日に行いましょう

気温が低い時間帯や降雨中の人工受粉では、花粉が発芽しなかったり、めしべに付かなかつたりする恐れがあります。日中の暖かい時間帯に受粉を行いましょう。なお、受粉後3時間以内に降雨があった場合や、受粉後に霜害を受けた場合には受粉をやり直しましょう。

(2) 貯蔵花粉使用の留意点

貯蔵花粉を使用する場合は、発芽率を十分確認してから使用してください(本年も貯蔵花粉の発芽率調査を実施します。下記「5 貯蔵花粉の発芽試験」参照)

- 発芽率が「◎」(発芽率70%以上)のものは増量可能な良い花粉として扱えます。
- 発芽率が「○」(発芽率70~50%)および「△」(発芽率50~30%)のものは増量せず使用してください。
- 発芽率が「×」(発芽率30%以下)のものは発芽率の高い花粉の増量剤としてのみ使用してください。

4 霜害対策

(1) 気温の低下軽減

低温層の発生位置を出来るだけ低くするため、草生栽培園では短く刈り、棚面付近の気温低下の軽減を図ってください。

(2) 冷気の流れ込み防止

冷気が流入してくる方向にはネットを下ろす等、冷気の流入を防ぐよう努めてください。

(3) 気象情報等の把握

霜注意報、予想最低気温等の把握に努めるとともに、梨園地低温警報メール(登録者のみ)の確認により、霜害発生リスクに備えましょう。

(4) 燃焼法による防霜対策

降霜が予想される場合は、園地周囲のネットを下ろし、燃焼資材(灯油+キッチンペーパー、または練炭)を用いて園内の温度上昇や空気の対流促進を図りましょう。

5 貯蔵花粉の発芽試験

	受付月日	受付時間	受付場所	結果の報告
(旧)第1選果場管内	3月15日(火)	午前9時~10時	梨会館	受付の 2日後 に梨会館入り口に貼り出します(射水市は別途対応)。
(旧)第2選果場管内	3月16日(水)	午前9時~10時	梨会館	

※受付日前日に試験に使う分のみを冷凍庫から取り出し、直射日光と暖房を避けて保管・準備してください。

6 接ぎ木等の許諾手続き

種苗法の一部改正により、令和4年4月1日以降に、国の育成品種で、品種登録している品種(あきあかり、あきづき、なつしずく、なるみ、はつまる、ほしあかり、王秋、甘太、秋麗、凜夏、蒼月、なし中間母本農1号)を自家用栽培向け増殖(自園地で栽培している樹から穂木を採取し、挿し木繁殖や自園地の他の樹に接ぎ木)する場合、許諾手続き(有償)が必要となります。

また、国育成以外の登録品種(出願中の品種を含む)についても、自家用栽培向け増殖には育成権者の許諾が必要となる場合があります。自家増殖の際には、品種登録の有無、育成権者が求める許諾条件等を十分に確認してください。

なお、従来、登録品種の穂木を他人へ譲渡(有償・無償に関わらず)することは認められておりませんのでご注意ください。

詳細は農林振興センターへお問い合わせください。

【お問い合わせ】富山農林振興センター担い手支援課園芸振興班 担当:南條 tel.076-444-4523